

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 1 月 27 日 (2011.1.27)

【公表番号】特表 2010-513687 (P2010-513687A)

【公表日】平成 22 年 4 月 30 日 (2010.4.30)

【年通号数】公開・登録公報 2010-017

【出願番号】特願 2009-543030 (P2009-543030)

【国際特許分類】

C 0 8 F 20/22 (2006.01)

C 0 8 F 20/58 (2006.01)

C 0 8 F 20/26 (2006.01)

G 0 1 N 33/547 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 20/22

C 0 8 F 20/58

C 0 8 F 20/26

G 0 1 N 33/547

【手続補正書】

【提出日】平成 22 年 12 月 3 日 (2010.12.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

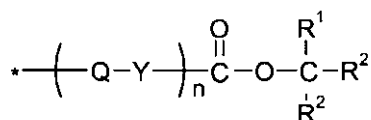
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アミノ含有材料を高分子材料に結合する方法であって、
式 I のペンダントアミン捕捉基を含む高分子材料を提供する工程であって、

【化 1】



I

式中、

n が、0 又は 1 に等しく、

Q が、カルボニルオキシ又はカルボニルイミノであり、

Y が、アルキレン、ヘテロアルキレン、アリーレン、又はこれらの組み合わせを含む二価の基であって、任意に、カルボニル、カルボニルオキシ、カルボニルイミノ、オキシ、
- N R³ -、又はこれらの組み合わせを更に含む、二価の基であり、

R¹ が、水素、フルオロ、アルキル、又は低級フルオロアルキルであり、

R² が、低級フルオロアルキルであり、

R³ が、水素、アルキル、アリール、又はアラルキルであり、

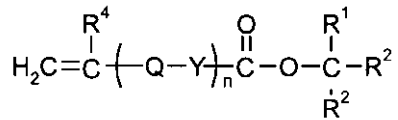
星印 (*) が、該高分子材料の主鎖への該ペンダント基の結合部位を示し、

(1) 一級又は二級アミノ含有材料と、(2) 該ペンダントアミン捕捉基のフルオロアルコキシカルボニル基を反応させ、該高分子材料への該アミノ含有基の結合をもたらす、工程とを含む、方法。

【請求項 2】

前記高分子材料が、式 I I のアミン捕捉モノマーを含む反応混合物の反応生成物であり、

【化 2】



I I

式中、

R⁴ が、水素又はアルキルである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記高分子材料が、架橋される、請求項 1 に記載の方法。